

# The Gallery 傍聴席

2005（平成17）年7月24日（日）

発行・相模原市議会をよくする会

5月臨時会・6月定例会版

## 今井新議長が市議会を語る！ 「市民と目と目を合わせる」



笑顔で語る今井満議長

市議会5月臨時会（5月17、18日）で、今井 満氏（市政クラブ）が市議会議長に、副議長には山崎順二氏（公明党）が選出された。本会（相模原市議会をよくする会）は18年ぶり2度目の議長職に意欲を燃やす今井議長と懇談した。

問. 議員生活30年、特別の感慨はありますか？

答. 世のなかの変化が激しい。議会の招集状も昔は自宅に職員が手渡しに来た。IT時代で便利、合理化が進むが、本音の政治が必要なことは変わらない。

問. 議会は行政のチェックが本来の役割です。小川市政についての評価は？

答. いろいろな角度から見ているが、100%良いとは言えないにしても、市長は3期目に入ってよくやっているのではないかと。精一杯やってると思う。物事には優先順位

問. 津久井各町との合併が進められていますが、議長の期待と心配事は？

答. 私の小学校時代の遠足は城山だった。自然との触れ合いができる地域との合併は魅力だし、尾崎弔堂や天野貞祐を生んだ津久井を尊敬している。そんな土地との合併によって相模原市により豊かな人間性が伝わるのでは。心配なことは人びとの調和の実現だが、距離を埋めるには目と目を合わせて話し合う事でうまく行くと思う。

問. 議会制度検討協議会が正式に発足してから2年以上、何も実現していませんが、何が原因ですか。解決策は？

答. 議員は一生懸命やっていると思う。何でも欲張ると長引くものだ。本会議での議員の呼び方なども、昔は名前ではなく「番号」だったが「名前」も合わせて呼ぶようになった。私になって、今回から採決のときに「賛成の諸君の起立を」でなく「議員の起立」に変えた。女性議員が増えたので「諸君」はおかしいからね。協協議会にも議会の歴史が絡んでいるのでとやかく言えないこともある。

問. 市民提案とでもいえる「請願・陳情」の審査で、提出者の意見を聞く“参考人制度”が全く使われてなく、また趣旨採択や部分採択もされていません。今回の協議会でも「従来通り」に決まりました。

（次ページに続く→）

# 傍聴報告・5月臨時会

## ■ 本会議 (感想と意見) (5月17,18日の2日間)

【5月臨時会は津久井・相模湖両町との合併準備に伴う補正予算(8億5千万円)の審議と正副議長はじめ常任・特別委員委員、それに監査委員・農業委員会委員等の選任が行われました。】

1. 友成議員が8.5億円はなぜ3月議会で補正しなかったのか、うち854万円を財政調整基金から出したことへの疑義を表明した。また、県への合併申請には担保がない、責任は重いと発言。
2. 西村議員が、各町が未確定の今の時点での予算化はおかしい。先行合併というが、2町が来なかったらどうするのか。7月からのオンライン化に疑問を表明。
3. 藤井議員が、民放「テレビ朝日」合併特集番組の感想を市長に質問。市長は「あれは放送局の考えである。私は内容が事実と違うと言いたい」と答弁した。
4. 8.5億円の使途は合併市町間の電算ネットワーク化だが、市企画部長の答弁では、合併に間に合わせるには18ヶ月の準備が必要と説明。来年3月までは10ヶ月しか無い。理屈に合わないけど?
5. 岩本議員、電算システムが合併の成否を左右すると指摘。短期間では難しい、予算の財源と内訳、さらに他2町との費用分担を質問した。
6. 東條議員、この補正は相模原市のためとは言えず、地方自治法222条に反すると指摘。電算システムのよりスリムなものが無いのかと質問。 ■

### 【今井議長との懇談】 → 1頁から続く

- 答. ルールについて、議長からいきなりこうしろああしろというのは僭越ではないかと思う。皆さんの言うことは理解できるし、議員の間でも話題になっている事だから今後よく検討されると思う。ただ、どういう場合にやり、どう言う場合にやらないかは難しい。
- 問. 議会のインターネット中継が始まったことは喜ばしいが、「議会だより」の刷新はいつから始めるのですか。今の編集の姿は昭和時代から変わっていない。質問者の氏名公表、審議結果の会派別の賛否一覧など、他市に比べ実に遅れています。
- 答. 氏名公表は間もなく実現するが、会派別賛否は、このところ会派での拘束が解かれるケースがあり難しい。
- 問. 「タウンニュース」紙の記事に、議長のコメントとして「市民が納得できる議会運営をしたい」とあるが、それはどういうことですか。

- 答. それは、直接話し合っ分り合うということ。つまりさっき言った「目と目を合わせ分り合う」ということです。
- 問. 今井議長になってから、市長が再質問に答える回数が増えたようですが?
- 答. 活性化してきたのかな。
- 問. 「目と目」のチャンスは有りますか。
- 答. いろいろな人と話す機会は少なくない。行事に出ても、単に挨拶だけで帰ることはしたくないですよ。皆の話を聞く。
- 問. 議員の中には「俺たちは選ばれた人間。議員に文句を言うな」という人もいます。
- 答. 私はそうは思わない。ぜひ私を使って欲しい。議員の権能をしっかりと行使していかなければならないと思いますよ。
- 問. 女性議員が増えてきました。議会に何か変化が見えますか。
- 答. 確かに女性の能力が高まって来たことは事実です。変わった点といえば、行政視察に女性議員が入っているのも、女性の随行員も出てきましたね。
- ★ 率直なお話、有り難うございました。

(文責・赤倉) ■

# 傍聴報告・6月定例会

■ 本会議 (感想と意見) (6月3, 9, 28, 29, 30日の5日間)

1. 市政クラブと公明党、同派議員の質問に普段の拍手無し。インターネット中継のためかと勘繰った。
2. 久保田義議員、いつもは傍聴席に向いているのに、眠るときは前向きだ。
3. 指定管理者制度で、市側は議会の同意を得るには公正公平な選考をすると答弁したが、小池議員の言うように選考過程は明らかにすべきだ。
4. 金子議員、指定管理者になれなかった出資法人はどうなるかと質問。市側は、見直しと同時に必要な団体には指導をしていくと答弁。補助金や委託料等に頼って自立していない団体を指定するのはおかしいのではないか。
5. 藤井議員の指摘で、市側は指定管理者の兼職禁止規定の設置を答弁。出資法人は市長、助役、部長等が理事をしているものね。天下りはいいんだ。
6. 折笠議員と長友義議員の質疑で、昨年談合疑惑のあった業者と今回工事請負契約したことが明かされた。工事内容を一部設計変更(総額は減額したが、変更しない部分は増額)との説明には納得できなかった。疑問が残る。
7. 今井新議長、議案の採決時に賛成議員の起立をキチンと確認してから、結果を言っていた。これまでは自ら確認せずにメモを読んでいる議長がいたので、注目された。
8. 今議会の陳情数は特別に多かった。ことに「橋本6丁目D地区開発」に関するものが40を超えたことは異常。全てが不採択になったが、審議されたという印象は残らなかった。継続審議となった6つの教育基本法改正反対の陳情だが、議事録の無い常任委員会では審議・議論がどうなされているのか分からない。
9. 最近目立って多い職員の交通事故に関わる損害賠償の専決処分についての質疑で、佐藤議員と寺山議員の質問で運転していた職員の処分が無いことが判明した。
10. 交通事故の損害賠償の専決処分報告に、被害者の住所・氏名が公表されながら、加害者である職員の名前は出たことがない。職員だから個人情報保護されるのか。
11. 指定管理者制度の導入で、条例改正案が26件。官から民への流れの一環ではあるうが、一般市民には容易に理解できない。市町合併と同じで、お上主導で市民は置いてきぼりの感がある。
12. 橋本D地区開発への陳情は部外者には異常な現象。市と業者と議員と周辺住民との間で何が起きているのか、誰か簡潔に説明してもらいたい。
13. 米山議員、指定管理者制度導入で、その雇用には高齢者や障害者を入れるよう要望していた。
14. 長友義議員、クールビズで涼しげに、工事請負契約(議案77,79号)に反対討論。契約に当たっては、自分の金だったらと考えるべきだという。市議の役割は行政の95%を讃えるのではなく、5%の欠陥を限りなく100%に近づけることと心得ているとのこと。もっともな主張ではないか。
15. 西村議員、指定管理者制度に徹底した反対討論。資本主義の概念を広げ公共施設を市場化し、公的責任を無くせば、利用料は上がり市民への悪影響がある。雇用不安や既存労働権への侵害なども言及。着眼点をかえるとこんな論法もあるかと感心。
16. 藤井議員、指定管理者制度に関連した条例改正案26件について、7種類に分類して賛成、反対を述べた。営利を目的とする企業が公共施設を運営する弊害が有りそうところは反対ということだった。
17. 稲垣議員、指定管理者制度導入について公共施設の民間開放は時代の流れ、と実に大会派市政クラブらしい意見。また行政手続きのIT化の条例改正の賛成討論で、高齢

者・障害者の利用が進んでいないと指摘した。

18. 武原議員、指定管理者制度導入について、これまで独占的に運営を任せられ、行政に依存してきた出資法人が、もし指定されなかったら雇用問題はどのようにするのかと質問。利害関係者を排除し、公募にすべきだと主張した。

——【一般質問から】——

○阿部議員、「子育て支援策」に絡み、次女の出産シーンの様子を披露、生まれてすぐに抱かせてもらった時胸が一杯になったと言ったのは印象的だった。こうしたお父さんが増えれば出生率の向上につながると思った。

○金子議員、「文化財の保護と活用」と得意の基地問題をうまく組み合わせ、座間キャンプ内につながる勝坂遺跡の発掘調査はどうするかと聞いていた。以前、キャンプ内の大駐車場で遺跡調査らしいものを見た気がする。

○長友克議員、議会の権能の強化に必要な情報公開を行政側が渋っていると苦言。中央省庁からの通知は1200件もあるが、議会に開示していないなかで、要綱、要領は議会の関与もなく行政内部で決めているという。条例に準ずる効力を持つなら確かに問題だ。しかし、議員が情報を得ても果して対応できるか。職員並みに毎日仕事をしなければ無理だろう。

○長友克議員、いわゆる「2ちゃんねる」の掲示板からの引用として、職員が議会答弁の原稿作りや議員のクダラナイ質問などへの物凄い文句を披露した。その時、市政クラブ議席から「そんなこと言って何になるんだよー」と大声があがった。

○岩本議員、住民基本台帳の大量閲覧制度の悪用に対する市の対策のところ、母子家庭世帯だけを調べワイセツ行為に及んで逮捕された事件を取り上げた。そんな閲覧が許されるなんて恐ろしい。

○加藤議員、小児慢性特定疾患治療事業の改正で市が独自の制度を止め国の新基準に合わせたので軽度の疾患が対象外になったと懸念を表明。市長は2問目にも答

弁、それをサポートする部長連中の頭が一陣の風に吹かれる葦のように揺れた。しかし、この法改正を進めたのは公明党ではなかったのか。

○山下議員、終始一貫、市幹部職員を叱責。反面、市長・助役を気の毒がるというスタンス。実は平成13年秋、御園地区の自治会館落成式に出向いた現助役が「何だ、この場所は？」と啞然。そこは何と同年都市計画道路10ヶ年計画指定の道路予定地だった。自治会から850万円、市が同額の補助金を出して建設したものだが、市内の横の調整がなく不始末を起こしたもの。議場に与えた衝撃は大きかった！呆れた話だ。

○菅原議員の質問は、山下議員の質疑の後遺症で議場は私語でざわつき、単に朗読する内容も、防犯対策や子供の安全・安心対策と言うもので、1問目は殆ど誰も聞いていなかったのではないか。

○藤井議員、津久井郡2町との合併問題で、2町で6億4千万円の職員退職手当金を相模原市が肩代わりするのか、また相模湖町が借りている大赤字の駐車場を返すに当たって必要とする4千万円を誰が払うのかと追及。市側の答が「その他のことは現在調査中...」では、もっと出るのではとの予感。市長は合併特例債で何とかかなると思っているのか？

○岸浪議員、「ご静聴ありがとうございます」と言わなくていいから、もう少し聞きやすく読んでほしい。ところで「新たな人事評価制度」のなかで、市職員が組織目標と個人目標をあげ、到達度によって評価されると知った。18年度に本格実施らしいが、つい議員の評価制度はどうかと考えてしまう。「消防行政」の3問目では、何を言っているのか全く分からない「ㄉㄉ」、でも宮崎企画部長はなぜかスッと答えたがやはり「ㄉㄉ」。3問目はこうなるというシナリオがあったとしか思えぬ。

○友成議員の質疑で、教職員の出勤簿・評価は情報開示の非対象、児童の成績・家庭状況等は対象と分かった。

○久々に居眠り調査。今議会のワースト3は米山、佐藤、長友克3議員。 ■

# ■委員会感想と意見

## ■総務委員会（6月13日）

- 沼倉新委員長、冒頭マイクの使用の励行を注意したり、行政システム課長に大きい声を出すように注文をつけたり、と基本を押さえた好スタート。
- 阿部委員、議案48号（情報通信）は独壇場とあって、県との共通システムの構築を提言するなど30分あまりシステム担当課長に質疑した。
- 友成委員、議案49号ほかの指定管理者制度導入問題で、これからは都市間競争に勝てる魅力ある都市作りの必要性を強調していた。
- 山口助役、相変わらずの教科書的答弁で施設の市民満足度を高めるための力量が問われている。そのためには法人格をもった公共的団体でなくても手を挙げてほしいと説明したが、庁内に設置するという指定検討会や選考委員会の中身は大丈夫か。管掌各部門毎に職員や学識経験者を配置すると答弁していたが。
- 友成委員、プリペイドカードの使用についてあれこれ不安を煽るような質疑に終始していたが、いい考えが有るならぜひ建設的に提案して貰いたかった。
- 大上委員、指定管理者制度については市民の声を少しでも多く聞くようにと注文していたが、この言葉は呉々も忘れぬように。
- 菅野委員、現市民文化財団の力量に不安を表明したが、実績から応募資格はあるとの市側回答があった。

## ■環境経済委員会（6月14日）

- 東條委員が、橋本駅周辺の公園設置（陳情54号）に関連、橋本地区の今後の計画を質疑。商業地区故公園は不可と明言。
- 陳情第2号（境川斜面緑地の保全）で、折笠委員が業者との協議の経過説明を求め、さらに13億円の税金投入の意味を

質した。金子委員は陳情趣旨に沿って採択したいと意思表明していた。結局、折笠委員の「継続にしたら..」の発言で継続に。  
 ★陳情の審査の実質的な会派間のやり取りは相変わらず“休憩”してマイクは不使用。結果も大事だが、各議員の発言内容を知ることが大事なのに！

## ■民生委員会 6月15日

- 職員の定期人事異動後初めての常任委員会とあって、新任部・課長の紹介が委員会開会に先立ち行われた。その儀式が終わらないと傍聴者を入室させない。なぜ、傍聴者にも紹介しないのか説明が欲しい。
- 武原委員、管理者選定の判断基準で質問、市は公立保育所（児童館、こどもセンター）等は当面直営と明言していた。
- 小林委員、指定者選定の「総合評価方式」や障害者雇用を盛り込んだ理由などを質疑したが、市側はまだ制度そのものを作成中という心配な現状だ。
- 松永委員、健康文化センターなどに利用者運営委員会を設置することを提案したが、市民の声はアンケートで聞いているという市側の答は安易過ぎないか。
- 川田委員、管理者の応募者には施設の過去の情報を全て提供するのかと質疑、市は肯定した。事業計画書には経営理念、安全、人員計画、情報管理などの中身を求めるといふ。
- 大沢委員の管理者が被った損害についての質問には、市が国家賠償法により対応すると答弁された。料金制をとるような施設では委託料は減っていくとのこと。
- 石井委員、民間のノウハウを導入することはいいいことだが、選定の際に外れた応募者のノウハウを盗み取りすることはないのか等と人品卑しい発想には驚いた。
- 溝渕委員、健康文化センターに関する質疑で、お得意の設立経緯の解説に続き、「文化」の意味をシッカリ管理応募者に教えるべきと力説。この施設が本来の目的に沿って運営すべきと自説を展開した。 ■

## ■建設委員会(6月16日)

- 市内豊町のまちづくりは、住民と行政が一緒になって実施した典型例として、関山、久保田義、田中の3委員が質疑。市は今後アドバイザーの派遣の他、HP、広報ささがみはら、他紙への掲載などでPR拡大推進したいという。
- 長友義委員から工事請負契約での談合情報に基づいて公取委と神奈川県警に報告したとの指摘と、市側の発注の仕方への苦言があった。市側の答弁は歯切れの悪い納得しにくいものばかりだった。
- 田中委員の質問に対しても、限りなく灰色に近い業者を排除することは難しいと答弁していたが、税金の無駄遣いで市民に迷惑を掛けているのに不正業者を排除出来ないのはおかしい。行政としては、法律などの不備を正すとかなんらかの対応策を取ってしかるべきではないか。
- 30数件の陳情が寄せられ、そのうち80%が橋本6丁目D地区優良建築物問題に関するもの。市によれば業者説明会(対象世帯数736)は6回、計460人、市職員は2回出席などで、事前説明のノルマは終わっているとの答弁。溝呂木建築部長は、田中、稲垣、寺山委員らの質問に引き続き配慮をしていくが法律的には問題ないと述べていた。しかしこの陳情の多さは住民の理解がまだ十分に得られていないためと見受けられる。

## ■文教委員会(6月17日)

- 「教育基本法」関連の陳情5件(継続)の一括審議で、開始早々休憩して話し合い。マイクを入れないのでボソボソと良く聞こえない。議事録を取らないことと傍聴者に聞かせないこととは別だ。そこで、聞こえた主な発言は下記の通り。
- 長友克委員、この陳情の継続、最長の2年は長すぎる。なにがしかの方向は示すべきと主張。賛成だ。
- 西村委員、国会審議を待つのでなく、キ

チンと討論すべきで、地方の意見が積み重なって国会を動かすとの発言はもっともではないか。

- 川上委員、「長期間継続」は結論が出せない悩みがあつてのこと。決着が必要だとは思うがと、ハッキリしない発言。この陳情は当委員会でやるべきものかどうか、国会でやるべきではないか、とも発言。たしかはじめは徹底的に議論しましょうと言ったと思うが。
- 陳情34号(中学校完全給食早期実現を)が、さらなる調査・研究を要するとなったがこれで3回目の継続審査。
- 久しぶりの議会川柳

「委員会 議論するのは 休憩中」

## ■議会運営委員会(6月21日)

- 当委員会は、国会・内閣あてに提出するための「地方議会制度の充実強化に関する意見書」の採択を審議し、決定した。

「意見書」によれば、「住民自治の合議体が自主性・自律性を発揮してはじめて地方自治の本旨は実現するものであり、時代の趨勢に対応した議会改革なくして地方分権改革は完結しない」という。

現在第28次地方制度調査会において、議会のあり方を審議事項として取り上げ、地方議会制度の規制緩和・弾力化を図っているが、「意見書」は特に、次の3項目を求め、地方議会の権能強化およびその活性化を図りたいとしている。

- ①議長に議会招集権を付与すること
- ②委員会にも議案提出権を認めること
- ③議会に付属機関の設置を可能にすること

第3番目の「付属機関」についての具体案は現在では無いとのことだが、どの様な機関を持とうとしているのか興味がある。意見書は7月4日に提出された。 ■

相模原市議会

政務調査費増額の  
条例改正案を可決

相模原市議会は3日、市議の政務調査費を約4割増額する条例改正案を原案通り賛成多数で可決した。これまで月額7万円だったが、4月から10万円に増額される。

本会議の討論では、共産市議が「厳しい経済情勢のなか市民生活も逼迫しており、増額は市民の理解を得られない」と反対したうえで、条例改正

するならば用途を証明する領収書を公開するよう求めた。

政務調査費は議員の調査研究活動などの経費として、議員報酬とは別に支給される。用途の収支決算書などの提出を義務づけているが、同市では領収書は不要としている。市は市議46人分の政務調査費として05年度予算案に前年度より165

朝日新聞 3月4日(金)

報道転載

6万円多い5520万円を計上している。

吹き飛ばす「観光、批判

相模原市議会  
最大会派 海外視察の報告書

相模原市議会の最大会派で保守系の「市政クラブ」(会長・山岸一雄市議、二十二名)は一日までに、昨年十一月に実施した海外視察の報告書をまとめた。

議員の海外視察はどうか、観光旅行などと批判されるが、今回は、市民団体が「非常によくできた報告書」と逆に驚く充実ぶりで話題となっている。

政策提言など充実

同会派の市議八人は昨年十一月七日から十一日まで、都市・環境・観光行政の視察を目的にシンガポールを訪問。経済開発局や水源地での視察内容や感想を七十枚余りの報告書にまとめた。

「議会行事ではない、会派初の海外視察。しっかり勉強し、いい前例となる報告書を作ろうと考えた」と山岸氏。「国際経済と積極交流を」(即

断即実行の情報技術(I T)政策で競争力を」など八項目の提言を盛り込んで庁内関連部署に配布した。

議会傍聴に取り組み、日ごろ会報などでは同会派に厳しい「相模原市議会をよくする会」の赤倉昭男代表は「政策提言に関連部署も明記され、とてもよくできている」と高評価。「今後、市民の立場でどれだけ実現するか注目していきたい」と話している。

(吉田 勝行)

神奈川新聞 5月2日(月)

神奈川新聞 4月19日(火)

住民の視点で議会考える

市議交え意見交換

相模原

住民の視点で議会のあり方を考える「市民が開く市議会報告会」がこのほど、相模原市中央の市民会館で開かれた。相模原市議会の傍聴活動に取り組む市民グループ「相模原市議会をよくする会」(赤倉昭男代表)の主催で、市議六人を含む約三十人が参加、活発に意見を交わした。

報告会は同会のメンバーが議会を傍聴した記録を基に、市議とも意見を交わすことを目的として、年一度行われている。メンバーが、閑散とし



市議を囲んで質問をする住民たち

た傍聴席の椅子が形式的な質疑応答が交わされる市議会の問題点を指摘。参加者から「住民に関心を持ってもらえるような議会を目指してほしい」といった意見が出された。

市議らは「インターネット放送などを通じて、住民が直接議会を見られるような仕組みをつくり、議会の活性化につなげたい」と答えていた。

(町田 寛典)

「The Gallery」第24号より

相模原市議会3月定例会審議結果一覧表

議案番号	議案名	議決結果												
		賛成	反対	棄権	欠席	無効	その他	賛成	反対	棄権	欠席	無効	その他	
議案第1号	...	○						○						
議案第2号	...	○						○						
議案第3号	...	○						○						
議案第4号	...	○						○						
議案第5号	...	○						○						
議案第6号	...	○						○						
議案第7号	...	○						○						
議案第8号	...	○						○						
議案第9号	...	○						○						
議案第10号	...	○						○						
議案第11号	...	○						○						
議案第12号	...	○						○						
議案第13号	...	○						○						
議案第14号	...	○						○						
議案第15号	...	○						○						
議案第16号	...	○						○						
議案第17号	...	○						○						
議案第18号	...	○						○						
議案第19号	...	○						○						
議案第20号	...	○						○						
議案第21号	...	○						○						
議案第22号	...	○						○						
議案第23号	...	○						○						
議案第24号	...	○						○						
議案第25号	...	○						○						
議案第26号	...	○						○						
議案第27号	...	○						○						
議案第28号	...	○						○						
議案第29号	...	○						○						
議案第30号	...	○						○						
議案第31号	...	○						○						
議案第32号	...	○						○						
議案第33号	...	○						○						
議案第34号	...	○						○						
議案第35号	...	○						○						
議案第36号	...	○						○						
議案第37号	...	○						○						
議案第38号	...	○						○						
議案第39号	...	○						○						
議案第40号	...	○						○						
議案第41号	...	○						○						
議案第42号	...	○						○						
議案第43号	...	○						○						
議案第44号	...	○						○						
議案第45号	...	○						○						
議案第46号	...	○						○						
議案第47号	...	○						○						
議案第48号	...	○						○						
議案第49号	...	○						○						
議案第50号	...	○						○						
議案第51号	...	○						○						
議案第52号	...	○						○						
議案第53号	...	○						○						
議案第54号	...	○						○						
議案第55号	...	○						○						
議案第56号	...	○						○						
議案第57号	...	○						○						
議案第58号	...	○						○						
議案第59号	...	○						○						
議案第60号	...	○						○						
議案第61号	...	○						○						
議案第62号	...	○						○						
議案第63号	...	○						○						
議案第64号	...	○						○						
議案第65号	...	○						○						
議案第66号	...	○						○						
議案第67号	...	○						○						
議案第68号	...	○						○						
議案第69号	...	○						○						
議案第70号	...	○						○						
議案第71号	...	○						○						
議案第72号	...	○						○						
議案第73号	...	○						○						
議案第74号	...	○						○						
議案第75号	...	○						○						
議案第76号	...	○						○						
議案第77号	...	○						○						
議案第78号	...	○						○						
議案第79号	...	○						○						
議案第80号	...	○						○						
議案第81号	...	○						○						
議案第82号	...	○						○						
議案第83号	...	○						○						
議案第84号	...	○						○						
議案第85号	...	○						○						
議案第86号	...	○						○						
議案第87号	...	○						○						
議案第88号	...	○						○						
議案第89号	...	○						○						
議案第90号	...	○						○						
議案第91号	...	○						○						
議案第92号	...	○						○						
議案第93号	...	○						○						
議案第94号	...	○						○						
議案第95号	...	○						○						
議案第96号	...	○						○						
議案第97号	...	○						○						
議案第98号	...	○						○						
議案第99号	...	○						○						
議案第100号	...	○						○						

相模原市議会 定例会審議結果一覧表

神奈川県下37市町村の「市議会だより」を調べて、会派別に「審議結果一覧表」が掲載されていたことから、相模原市の各会派の姿勢を知るために会報「The Gallery」に公表してきました。

この間、当会として市議会改革10提言や議会だよりの改善陳情（不採択）等行う。議会では、議会制度検討協議会で1年間協議。結果報告を受けた議会運営委員会にまだに継続審議となっている。

しかし、この2005(17)年6月議会よりインターネット放映が始まり、議員の動向を知ることができます。「市議会だより」に掲載されるのも時間の問題だと思いますので、会報での掲載を中止します。

掲載中止

相模原市議会 定例会での議員活動（一般質問）状況

神奈川県下37市町村の「市議会だより」を調査。(会報「The Gallery」第3号掲載)議員の名前を明かにすることは当たり前ののに、相模原市の「市議会だより」には掲載されていなかったことから、会報「The Gallery」に公表してきました。

審議結果と同じく、市議会改革10提言や議会だよりの改善陳情（不採択）等行う。これも議会制度検討協議会で協議、現在議会運営委員会の継続審議となっている。とはいえ、インターネット放映により、質問者、質問内容、市長他行政側の答弁も解ることから、やはり「市議会だより」に掲載されるのは時間の問題だと思いますので、会報での掲載を中止します。

相模原市議会9月定例会での議員活動（一般質問）状況

議員名(会派)	一般質問の要旨	議員名(会派)	一般質問の要旨
金子 典典 (自由民主党)	①社会福祉の推進と福祉の自給率の向上に関する質問 ②福祉サービスの充実に関する質問 ③福祉サービスの充実に関する質問 ④福祉サービスの充実に関する質問	菅 義典 (日本共産党)	①福祉サービスの充実に関する質問 ②福祉サービスの充実に関する質問 ③福祉サービスの充実に関する質問 ④福祉サービスの充実に関する質問
森 直也 (自由民主党)	①福祉サービスの充実に関する質問 ②福祉サービスの充実に関する質問 ③福祉サービスの充実に関する質問 ④福祉サービスの充実に関する質問	菅 義典 (日本共産党)	①福祉サービスの充実に関する質問 ②福祉サービスの充実に関する質問 ③福祉サービスの充実に関する質問 ④福祉サービスの充実に関する質問
菅 義典 (日本共産党)	①福祉サービスの充実に関する質問 ②福祉サービスの充実に関する質問 ③福祉サービスの充実に関する質問 ④福祉サービスの充実に関する質問	菅 義典 (日本共産党)	①福祉サービスの充実に関する質問 ②福祉サービスの充実に関する質問 ③福祉サービスの充実に関する質問 ④福祉サービスの充実に関する質問
大 塚 洋子 (自由民主党)	①福祉サービスの充実に関する質問 ②福祉サービスの充実に関する質問 ③福祉サービスの充実に関する質問 ④福祉サービスの充実に関する質問	菅 義典 (日本共産党)	①福祉サービスの充実に関する質問 ②福祉サービスの充実に関する質問 ③福祉サービスの充実に関する質問 ④福祉サービスの充実に関する質問
菅 義典 (日本共産党)	①福祉サービスの充実に関する質問 ②福祉サービスの充実に関する質問 ③福祉サービスの充実に関する質問 ④福祉サービスの充実に関する質問	菅 義典 (日本共産党)	①福祉サービスの充実に関する質問 ②福祉サービスの充実に関する質問 ③福祉サービスの充実に関する質問 ④福祉サービスの充実に関する質問

「The Gallery」第24号より



# 新議長面談所感

## 議会運営の革新を期待

二川昭三

健全なる身体・精神、地域社会との密着努力による30年におよぶ議員活動には敬服あるのみ。素晴らしい人生・政治哲学。2度目の議長就任（多選議員の持ち回りでないことを願う）により、すでにいくつかの改善もされているが、ルールに従った運営には自ずと限界はあるやに思われる。近隣都市はすでに時代に即応した議会運営の革新を実行している。

すべて独立独行、唯我独尊で議会を進めてきた本市は旧来の陋習（ろじゅう）にとられ時代錯誤をしているのではないだろうか。（議員平均年齢57才、最高齢82才、最若年28才）

いびつな合併により益々広域化する臍のない都市・相模原、米軍基地問題もあるがヌルマ湯的平穩無事で人口62万の偉大な田舎都市からの脱皮を早急に計らなければ、ますます他都市に差を付けられてしまう。問題山積のなかの市長の体調不良。議長の責任、手腕が存分に発揮されなければならない環境である。コンプライアンスを基本とした革新的な議会運営を期待するとともに、勤続疲労を来さないよう、健康第一でご健闘されんことを祈るのみ。

## 画期的な前進を させて欲しい

中山貞望

写真や市議会本会議場から受ける議長の印象は堅物（かたぶ）というものだった。今回初めてお会いし、文字通り真面目な人であった。信条は「感謝・愛・真心」とのことだが、自らの信ずる手法は、人間はお互いに目を合わせながら、面と向かって話し合い、問題を解決することだという。印象的な発言であった。

今後の市政の諸問題に対しては、多くの市民の立場にたった是々非々の対応を、ある時は慎重に、ある時は勇断をもって画期的な前進をさせる働きを、今井議長には期待したい。

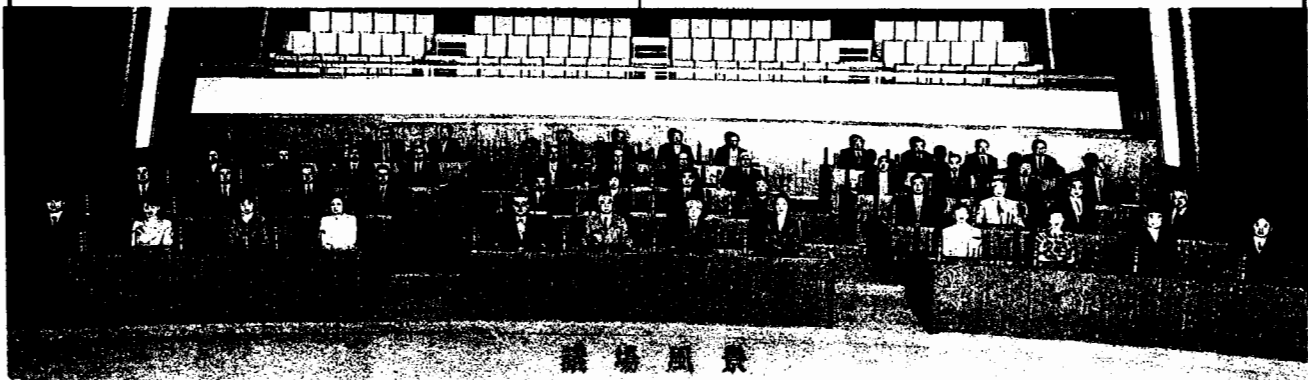
## 市民と心通う議会運営を

篠田房枝

質問に対する答えが、正面から直にではなく、一つ一つに含みがあり、30年の議員としてのキャリアを感じさせるものでした。発言はとても慎重。

議会制度改革についても、検討委員会のメンバーに入っていなかったし、今までの経過もあることだから、とかわしながらも議長という立場になったのだから、いいことは即、というふうにとの意欲も垣間見られました。

市民とも「目と目を合わせて」の心通う議会運営を期待しているところです。



議場風景

# 本会議の討論を生中継

— 6月定例会からインターネット配信 —

相模原市議会でも、6月定例会の本会議日程から、インターネット配信による生中継を開始することになった。この中継はパソコンのホームページで公開されるもので、開会中はもちろん1週間後からは録画を視聴できる。これまで昼間の議会を傍聴できなかった市民にとっては朗報である。かならずしも先進的導入ではないが、開かれた議会への大きな1歩であることは間違いない。

「相模原市議会」で検索したあと、「相模原市議会ホームページ」から「本会議中継（録画・ライブ）」へクリックすると、会議内容が表示され、開会、招集あいさつ（市長）、議定議案、委員選任、総括質疑や議員個人別に行われる一般質問など、好きな部分を選択して視聴できる。

総括質疑、一般質問ともに市長ほかの答弁も収録されるので、議員や答弁者の表情

なども手に取るように分かる。この中継ライブや録画のインターネット配信のPRが周知されれば、自ずと市民の議会への関心は高まるだろう。

初日6月3日のライブ中継へのアクセスは約180だったという。当日の議会への傍聴者がわずかに数名であったことを見るとこのインターネット中継は確かに有効だといえる。 ■

## 公共下水道工事専決処分2題

談合情報あった業者と契約 — 議会審議から

### ①麻溝台地区雨水幹線整備工事（1工区）

契約金額 962,850,000円で、今6月定例会で承認された市発注の下水道工事だが、最初の入札では1JVのみの応札、2回目は談合情報（昨年7月）で、ともに入札中止となった日く付きの契約。3回目入札で7組のJVの中から、戸田建設・肥後建設・入江土木・日栄建設4社による共同企業体（JV）が落札した。これが談合情報で名指しされた同じJVであったことから長友義樹議員が本会議の一般質問で取り上げ疑問を呈した。市側の説明では、本工事を担える所は他にないとの判断から契約したと答えたが、それでいいのだろうか。

（注）JV=Joint Venture

### ②溝上大野台雨水幹線整備工事（1工区）

平成15年6月に契約金額1,186,500千円の工事を1,202,130千円に契約変更するという専決処分の案件が6月議会で上程された。1563万円の増額契約だが、その理由として、トンネル内に発生した大量の湧き水への対処と掘削補助工法の変更等に要する費用をあげている。

先に、さがみはら市民オンブズマン（中野直樹代表幹事=弁護士）が監査請求の棄却を受けて横浜地裁へ提訴した中央地区の汚水幹線整備工事の際も、2700万円の追加工事とされる内容は同様の工事に加え、ガードマンの増員をあげていたことを想起する。地下のことは分かりにくい。 ■

# 異例の陳情42件を不採択

## 市所有土地売却でもめる橋本6丁目開発

相模原市議会のHPで平成17年6月定例会の審議結果を見ると、違和感を覚えずにはいられない。同地区再開発関連の44陳情が、数件の継続審議を除き不採択だ。市公社が開発業者へ売った土地売却値が市の買い戻し値の1/3というのだ。そして一体何が？

まずは件数の多さに目が行きますが、それよりも近隣の居住者に対し十分な説明をせずに押し切っている構図が容易に窺い知れます。陳情のなかには「再開発に当たり十分な話し合いを求めることについて」や「近隣へ十分な説明を行うことについて」という、この状況そのものも陳情として提出されているが、ともに不採択です。

では議会で不採択となった「近隣への説明」が十分であったかという点、不足は明らかであり、互いの意見を聞き調整を図るという意味での話し合いは皆無といっても過言ではない。

建設JVによる説明会も行われていますが、あくまで説明であり、それにより工事計画が修正されるような性質のものではないようです。配られた「工事に関する遵守事項」も「近隣の皆様へのご迷惑を最小限に留めるよう注意を持って...」という、基準もなければ違約時の対処義務も存在しない抽象的な内容に留まっている。

近隣住民との話し合いの結果結ばれる協定書も「工事が終わる頃に結ばれることだ」と開き直った上で法的拘束力がないことを認めています。この状況の中から提出された数々の陳情を、議会は本当に調査・議論を尽くしたのか甚だ疑問です。

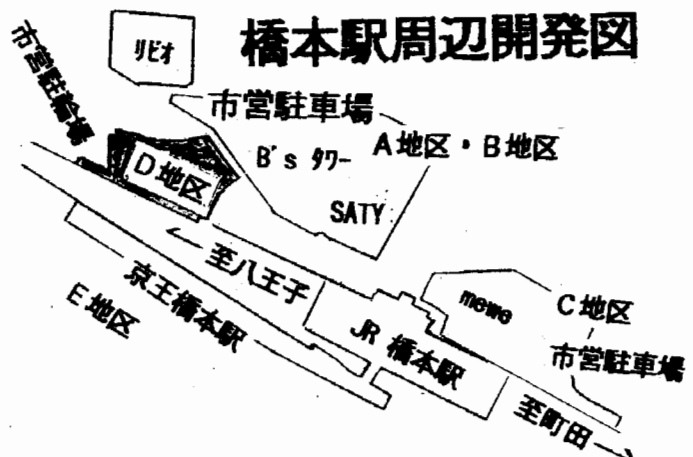
本計画においては土地の約40%が相模原市土地開発公社からデベロッパーであるリクルートコスモス社に売却されており、補助金も12億円（住民グループ調査）程支払われているという。それにも関わらず、本工事は入札ではなく随意契約であるうえ

に公益法人を介しての土地売買であるため、税金によって賄われている事業でも、扱いは「一事業者の工事」に過ぎません。では本件において、行政の不備を指摘すべき市議会がチェック機能を果たしているのだろうか。

本事業を推進してきた「橋本6丁目D地区優良建築物建設組合」の理事長は土地の売却当時、久保田義則市議会議員が務めており、直々に相模原市土地開発公社に事業協力の要請がなされている。さらに同日、相模原市長から同公社に対し事業の実施と組合への加入と土地の売却依頼も行われています。

土地開発公社は市の職員が市の財政により運営している組織であり、組合理事長の依頼から事実上の決定までの一連の流れは予め用意されていたことになる。

土地の売却価格は、市内の不動産鑑定士によるものだが、土地単価は公社の購入価格の1/3程度である。億単位になる市の財産の取引において単一市内業者の調査だけで進めたことは拙速であるとの印象を禁じえない。他の不動産鑑定士、ことに市外の業者に鑑定をさせるといった議会による行政チェックは出来なかったのだろうか。そんな政務調査費の遣い方をする議員が一人くらいはほしいものです。



# 政務調査費・透明度が問題だ

—町田市議X氏を招き、実情を聞く—

本会は、前号で相模原市議会の政務調査費のお手盛り増額(7万→10万円へ引き上げ)を批判したばかりだが、6月26日付「東京新聞」に掲載された都内の23区・30市町村の政務調査費の透明度調査で明らかになったデータから、隣市・町田市が収支報告書に領収書の添付を義務づけていることを知り、同市議会議員X氏を招き、支給の実情を聞いた。

- <実情1> 支給は4月、9月の2度に分けて年計72万円を会派に支給。
- <実情2> 収支報告書には領収書の添付を義務づけ、全ての会派が領収書の原本を情報公開の対象としている。(条例には明記せず)
- <実情3> 条例施行規則にて収支報告書の5年間の保存を義務づける。
- <実情4> 条例・規則には使途基準があり経費項目毎に使途の範囲を定めている。本基準には「支出できない経費」が下記のように明記されている。

- ① [交際費的な経費]  
餞別、慶弔、寸志、病気見舞い、年賀状購入・印刷代、名刺印刷代等。
- ② [政党の活動に属する経費]  
党費・党大会賛助金・参加費、党大会参加のための交通費等。
- ③ [選挙活動に伴う経費]  
パンフレット・ポスター等。
- ④ [食事のみに要する経費]
- ⑤ [その他名目のいかなを問わず議員個人に支給する経費]

<実情5> 提出についての注意書き。

●領収書について

1. 内容明記、日付、押印、収入印紙の貼付のもの。
2. 支出項目ごとに台紙に貼付。
3. パスネット、イカド、バスクドは使用済みカードを添付。(購入領収書不可)  
JRSUICAは利用履歴が印字したもの。
4. 有料道路でMウェイカード使用時は使用済みカードでなく領収書の添付。 ■

利用時は利用証明書の添付。

5. 燃料費の場合、ガソリン、軽油以外のもの(洗車代など)は対象外。

●会派の視察について

1. 領収書を視察ごとに分け、すべて視察費用の中に含めて計算する。  
(例) 研修会参加費、資料代、入場料、タクシー代など。
2. 宿泊を伴う研修会への参加は、調査活動費(会派視察と同様)で処理。 ■

相模原：町田の議会習慣の面白比較	
相模原	町田
なし (常任委議事録)	あり、CD-ROMも自動翻訳機で数日後に閲覧可。
あり (海外姉妹都市)	なし (儀礼視察の習慣回避)
なし (請願参考人説明)	あり
あり (陳情審査)	閲覧時審査は
陳情審査 (委員会暫時休憩)	私的個人名が審で頻繁。 議対象の時め。
通常第1問め (市長答弁)	市長中心。
教育長め (教育問題答弁)	市長め。
着席は職員 (本会議場での)	議員も職員も自
離席は議員め 離着席)	由に同時に。
議員上位 (事務局員)	議員と対等、事務局提言多数

## 「指定管理者制度」って？

今6月議会では「指定管理者制度」導入にあたっての条例改正が26件あった。これは官から民への流れの一環であり、民間活力導入、住民へのサービス向上、コスト削減を狙った規制改革というものなのだが、一体、どんな中身なのか？

2003年9月の改正地方自治法の施行により、「公の施設」の管理運営に指定管理者制度が導入され、従来、委託先が公共団体等に限定されていた施設の管理運営について、民間事業者も含めた幅広い団体に委ねることが可能となった。現行の管理委託制度は廃止、2006年9月1日までに指定管理者制度に移行することになっている。

「指定管理者制度」は、施設の管理に関する権限も委任して行わせるものであり、指定管理者は、利用許可も行き、条例の範囲で料金を自由に設定でき、使用料は指定管理者の収入として受け取ることができる。施設の管理だけでなく運営についても一定の枠の中で自由にできることになる。

### 条例改正された相模原市の「公の施設」

市民会館、文化会館、社のホールはしもと、男女共同参画推進センター、市民福祉会館、高齢者デイサービスセンター、高齢者介護支援センター、ふれあいセンター、障害者支援センター、身体障害者デイサービスセンター、けやき体育館、市民健康文化センター、産業会館、自然の村、相模の大風センター、勤労者総合福祉センター、相模川ふれあい科学館、都市公園、市営霊園、市営自転車駐車場、市営自動車駐車場、市営住宅、相模川自然の村野外体験教室、市体育館、総合体育館、総合水泳場

## 「公の施設」とは？

- 1) 民生施設 - 保育所、母子寮、養護老人ホーム、老人福祉施設センター、老人憩いの家、福祉会館、児童館
- 2) 衛生施設 - 屎尿処理施設、ごみ処理施設、下水終末処理場、公衆便所、健康センター
- 3) 体育施設 - 体育館、陸上競技場、プール、野球場、武道館、キャンプ場
- 社会教育施設 - 中央公民館、地区公民館、勤労青少年ホーム、青年の家、自然の家、中央図書館、地区図書館、博物館、資料館、小・中学校の地域開放
- 4) 宿泊施設 - 国民宿舎、その他宿泊施設
- 5) 公園 - 公園、児童公園
- 6) 会館 - 市民会館、公会堂、文化センター、勤労会館、婦人会館、コミュニティセンター、集会所
- 7) 診療施設 - 病院、診療所

## 市民の目で問題点を要チェック！

行政は市民に対する公的責任を果たせるのか？ 議会はどこまで関与できるのか？

指定管理者制度は、経費節減、効率性を最重点に民営化し、もうけ追求の団体にまかせることは、住民サービス向上めざす自治体の公的責任を放棄し、サービスの切り捨て、後退につながることになりかねない。

最初に安い料金に設定されても、もうけを確保するために後で引き上げられる心配あり。

兼業は禁止規定が適用されず、設置者（首長）や議員、その親族が経営する事業者が設定される可能性もあり、腐敗・不正の温床になることも危惧される。また、指定管理者が得た個人情報情報の保護についても、情報の流出が心配だ。

これまでの公的セクターでの「公務員に準拠する」労働条件が大幅に引き下げられるなど、そこで働く労働者の身分・労働条件は著しく不安定なものにならないをえない。

## 議会軽視の石井議員が 議会運営委員長に！

2月臨時会の最終日の14日、臨時会の最重要議案である「相模原市・津久井町・相模湖町合併協議会の設置について」の採決を行った際、採決を放棄し私的な海外旅行を優先した石井千太郎議員が、5月臨時会の18日に議会運営委員会の委員長に選任された。

議員の役割として最重要である「議決権」の行使を棄てるような議員に議会運営を任せた議員諸氏に強く抗議したい。反省もせず、凶々しく就任した本人には呆れるばかりだ。

### □ 本会第6回総会で新役員決まる □

「相模原市議会をよくする会」の年次総会が5月15日（日）大野北公民館で開催され新年度役員が次のように決まりました。

- 代表＝赤倉昭男（留）
- 副代表＝北代照明（留） 渡辺登志子（新）
- 書記＝中山貞望（留） 大野千恵子（新）
- 会計＝篠田房枝（留）
- 運営委員＝浅賀きみ江／大林トヨ子／二川昭三／西村眞（以上留） 大箸了／首藤清／吉川隆之（以上新）
- 会計監査＝赤柴美重子（留）

### 05市議会・常任委員会正副委員長一覧

委員会	委員長	副委員長
総務	沼倉孝太②	菅野通子⑦
民生	細谷政幸①	加藤明德②
環境経済	藤井克彦③	小池義和①
建設	須田毅①	田中武夫③
文教	菅原康行③	西村綾子③

議会運営 石井千太郎⑦ 菅原康行③

基地対策特別	阿部善博①	田中武夫③
交通問題	加藤明德②	大沢洋子①
少子高齢化対策	岩本香苗①	中村昌治①
防災対策	松永千賀子②	大上和夫③
合併問題	山岸一雄⑦	小林一郎⑥
産業集積対策	折笠峰夫⑤	関山由紀江②

○内の数字は当選回数

### 編集後記

- 今井満新議会議長との懇談が実現し、立派な議長室で1時間、3人の会員とともに歓談した。目と目を合わせ市民と語るという議長の目は優しかった。
- このところ談合疑惑やミス続きの多い相模原市政だが、議会の厳しいチェック機能が発揮されることを願う（赤）

### 9月定例会日程（会議の開始は毎日朝9時半から）★陳情締切 8/25

8月19日（金）議会運営委員会	9月13日（火）民生委員会
8月26日（金）本会議（議案説明）	9月14日（水）建設委員会
9月6日（火）本会議（総括質疑）	9月15日（木）文教委員会
9月7日（水）本会議（予備日）	9月28日（水）本会議（委員長報告）
9月9日（金）総務委員会	9月29日（木）本会議（一般質問）
9月12日（月）環境経済委員会	9月30日（金）本会議（一般質問）、議運委

### □入会申込書□

<入会金不要>

私は会の趣旨に賛同し、入会します。（A, B どちらか ○を付けてください。）

氏名 \_\_\_\_\_

A. 会員（傍聴など活動する）として

住所 \_\_\_\_\_

B. 賛助会員（購読し、支援する。）として

☎・FAX \_\_\_\_\_

●年会費（会員2000円、賛助会員1口1000円から）

★郵便振込口座番号:00280-6-48430 相模原市議会をよくする会

★申込み先= 相模原市議会をよくする会・事務局（代表/ 赤倉昭男）

〒228-0814 相模原市南台5-13-8 ☎/FAX 042-749-9140